

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	FC.LIG		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 15日		～ 2025年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様への安心感	まずはお子様本人が楽しいと感じる安心できる場所を提供することを第一に考え、スタッフと保護者様のコミュニケーションはもちろん、お子様が安心して通う姿を見て保護者様にもご安心頂けるような環境づくりを心掛けている。	保護者様との関りにおいては、スタッフによって偏りがあるため、ママキラ会などのイベントを定期的に関催し、スタッフ全員をより深く知っていただく機会をつくり、保護者様への安心感に繋げていきたいと考えている。
2	研修制度	月に1回、全スタッフを対象とした研修を設けるほか、スタッフの年齢や経験に応じて外部の研修制度を利用し、学びを深める機会を設けている。	スタッフの目線で必要としている知識や内容の研修制度を自分たちで考えており、今後実施していく予定である。
3	支援の内容	支援計画作成時や、日々の送迎時に保護者様とお話しさせていただくことで日々のお子様の様子を共有し、個々に合った関りができるよう努めている。	本人にニーズの聞き取りを定期的に行うことにより、本人のためになる支援を行うことが出来るのではないかと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	相談支援などの事情所との連携が薄い	ご利用様で相談支援をご利用している方が少なく、ご利用している場合でも、双方から連絡する機会が少ない。	今後は相談支援員の方とも支援計画やモニタリングなどの共有をさせて頂き、密な連携を取っていき、ご利用様様のより良い支援へと繋げていく。
2	事故防止や緊急時対応マニュアルの周知	定期的に確認を行い、お便りやSNSなどを通じて緊急時の対応確認を行う。保護者様との確認も怠ることのないように対応する。	全スタッフへの周知徹底を必要がある。

3	保護者会の充実	一定数の保護者様に参加いただいているものの、メンバーが固定化されてしまっている現実がある。	保護者様の参加しやすい日時や環境の設定を行う必要がある。
---	---------	---	------------------------------